（認特）浜松NPOネットワークセンター

2018年度　事業報告書（2018/4/1～2019/3/31）

**１．民間非営利組織の発展を支える事業**

（１）共同事務所運営：会議室・事務機器の貸し出し、事務局代行、交流コーナー

　　　　事務局代行は、フィリピノナガイサ、浜松環境ネットワークの2団体

（２）啓発

１）NPOプレゼント講座in西部　【静岡県労働者福祉基金協会 委託】

　　7/1（日）**「NPO会計入門＋会計ソフト講座」**

10:00-12:00　NPO会計入門、13:00-15:00　会計ソフト講座、15:00-16:00　個別相談

場所：浜松市福祉交流センター21会議室　　資料代：500円

参加者：会計入門15、ソフト講座11、個別相談4、講師スタッフ 4

講師：中尾さゆりさん（ボランタリーネイバーズ、NPO会計税務専門家ネットワーク、税理士）

　　　　　井ノ上美津恵（浜松NPOネットワークセンター代表理事、NPO法人会計基準協議会）

今年も参加団体の経験・規模の二極化が著しかった。個別相談では、NPO法人設立の手続き、1億を超える団体の会計業務、海外送金の扱いなど多岐にわたった。

7/22（日）13:30～16:30**「議員とNPOの円卓会議」**

場所：浜松市こども館分室（ザザシティ中央館5F）　資料代：500円

参加者：39名（NPO27、行政2、議員8、オブザーバー2）、講師スタッフ 4

今年は基調講演を省き、議員から「地方議会のしくみ」「市民の声をとどけるしくみ」で、
市民が使える議会へのアプローチなどを紹介。

11/17（土）15:00～17:30**「ソーシャルセクターで働く～NPOとキャリア」**

場所：浜松市鴨江アートセンター201　　参加費：500円

基調講演：「多様な働き方・生き方のキャリアモデル」青木研輔さん（東大手の会代表世話人）

座談会:「ソーシャルセクターで働くという選択」

パネリスト　河合良太さん（（特）泉京・垂井、（特）地域の未来・志援センター）

　　　　　　　佐々木知里さん（（認特）クリエイティブサポートレッツ）

　　　　　　　広瀬稔也さん（（特）ひずるしい鎮玉）、青木研輔さん（東大手の会）

　　　参加者：13名（6団体）、講師4名、主催スタッフ4名

　　　2017年1月の平日夜に開催した時は40人超だったが、今回はイベントシーズンのせいか、

　　　学生の関心度が下がったのか集客に大苦戦した。

２）NPO支援財団研究会との共催**「助成財団シンポジウム」**【自主事業】

9/8（土）13:00～18:00　　場所　浜松市福祉交流センター大会議室

参加費：資料代1000円　　参加者　46名、スタッフ6名

　講師：松原明さん（（認特）シーズ・市民活動を支える制度をつくる会）

　事例紹介：（認特）しずおか環境教育研究会、（特）樹木いきいきプロジェクト、と・まーる

参加財団：トヨタ財団、三菱財団、キリン福祉財団、損保ジャパン日本興亜福祉財団、損保
ジャパン日本興亜環境財団、読売光と愛の事業団、日本郵便、非営利組織評価センター、ふじのくに未来財団、助成財団センター

　助成財団研究会主催**「助成担当者のための実務セミナー」**の協力

9/7（金）13:30～16:30　　場所：クリエート浜松51会議室　　参加者　15名

講師：渡辺元さん（公益財団法人 助成財団センター事務局長／プログラムディレクター）

３）浜松市南区地域力向上事業委託

ⅰ）次世代プレイリーダー養成講座**「こどもと遊ぶ実践塾」**【浜松市南区区振興課　委託】

　場所：浜松市南区役所

　9/30　講座「こどもの能力・生きる力をはぐくむために」高山静子さん（東洋大学准教授）、

10/7「南区を知る～ﾘﾋﾞﾝｸﾞﾗｲﾌﾞﾗﾘｰの手法を使って」「地域の【居場所】×【遊び】を知る」

　　手塚海司さん、岡本眞理さん、露木里江子さん、國井良子さん、清水浩利さん

10/20　講座「こどもの遊びから見えること」塚本岳さん（名古屋市南児童館館長）

　11/3　実践「区役所をあそびの基地にしちゃおう」

　11/24　グループワーク「リスクとハザードを考える」「私のこうなったらいいなを伝える」

　参加者：①60　②18　③29　④76　⑤13　実人数131名（大人94、子ども37）

外部3名を含む実行委員会を5回開催して方向性や企画を練り、講座、実践、グループワークを通して、子どもの遊び場をつくる人材を養成した。

ii）南区まちづくり『人財』育成プログラム**「あったらいいなあ！こんな居場所を考えよう」**

　場所　浜松市南区役所　　　　　　　　　　　　　　　　【浜松市南区区振興課　委託】

　12/15 講座「こどもが生き生き育つ居場所とは」大隅和子さん（浜松未来を育てる会代表）

　　トークタイム「いいな♡いいな♡こどもたちのこんな場所」

　　　　村上節子さん、村松博美さん、兼子孝宏さん、山崎真之輔さん、太田智子さん

　1/19　講座「ご近所みちあそび　はじめの一歩」嶋村仁志さん（TOKYO PLAY代表）

　参加者：①18　②31　実人数38名

４）静岡県西部NPO法人会・幹事会

　　7/2総会、8/4浜松市市民協働タウンミーティング、2/6協働勉強会　ほか、幹事会に参加

　　NPO法人アンケートの作成・集計で浜松市市民協働指針の見直しに協力

５）「東海地方のソーシャルセクターの今とこれから～NPOが創る地域の未来～」

主催　NPO法20周年記念プロジェクト地域学習会in東海（実行委員会に参画）

12/8（土）13:15〜16:45　　場所　名城大学ナゴヤドーム前キャンパス

参加費　2000円　　参加者　約100名

６）NPO法人会計基準の普及促進

（３）情報収集・提供

１）ニュースレター年4回、ホームページ、ブログ、Twitterで発信、出版

２）サロン：1/27 N-Pocket新年会　参加者　25名

３）講師派遣

「浜松市のNPOの現状」（井ノ上）7月　自由民主党浜松　議員研修

「議員との円卓会議」（小林）　11/23市民セクター全国会議2018、11/24東大手の会、

12/26あどぼの学校・京都

　　「NPOスタッフのためのNPO入門」（小林）　12/12（特）POPOLO

　　「NPOの活動とその役割」（小林）　6/26　静岡産業大学

　　「ジョブコーチ概論」（美甘・島田）　7月　聖隷クリストファー大学、

9月　特別支援学校、オールしずおか、11/21　県障害者雇用推進セミナー

４）ネットワーク、情報受発信

（４）地域資源調査

１）Webサイト「はままつ市民の力きらきらBOX」他の更新

（５）提言

１）自治体に委嘱された委員

井ノ上美津恵：浜松市みんなのはままつ創造プロジェクト審査委員、浜松市市民協働推進委員会

　　静岡県ふじのくにNPOパートナーシップ委員会、静岡県ふじのくにNPOセンター選定委員

小林芽里：浜松市中山間地まちづくり事業交付金審査委員、湖西市文化の香るまちづくり審査委員、浜松市環境教育推進ネットワーク運営委員会

島田江津子：浜松市ユニバーサルデザイン審議会、浜松市中区障害者自立支援連絡会

美甘和子：西遠地区就業促進協議会

２）具体的な意見書の提出など

「浜松市第４次地域福祉計画策定（案）」にかかわるパブリックコメント提出

「浜松市市民協働ガイドライン」見直しに関わる提言（静岡県西部NPO法人会）

**２．多様な人々の社会参加を支える事業**

**（１）障害のある人**

１）障害者職場定着支援事業（18年目）【静岡県経済産業部就業支援局雇用推進課 委託】

①ジョブコーチ派遣

　　職場定着支援（従来のジョブコーチ業務）＋雇用アドバイス支援（アドバイザー業務）

　　支援対象者300人⇒323人　派遣件数3600人日⇒3,777人日

定着調査150人⇒154人（継続131、離職23）

②ジョブコーチスキルアップ研修　10回

ジョブコーチの資質の向上を図る講座を県内数所で計10回開催　⇒10回実施

参加者50人（のべ314人）

③障害者職場定着支援者養成研修

　　静岡県ジョブコーチ希望者および企業担当者、障害者施設などの支援者向け研修

　　日程：平成30年月9月28・29日、10月6・8・13日　会場：静岡県男女共同参画センター⇒　受講生48人、修了証発行42人、実習に進んだ方9人（うちN-Pocket登録2人）

④精神障害者職場環境アドバイザーの派遣（新規）

　96⇒119社　288⇒293人日　定着支援人数115⇒95人

定着調査50人⇒50人（継続40、離職10）

２）静岡県ジョブコーチ派遣事業運営のための付随事業

①ジョブコーチ現場実習

②拠点ミーティングおよび代表者会議　それぞれ月1回

③ブログ発信　http://blog.canpan.info/shizuokakenjobcoach/

④静岡県ジョブコーチ　アドバイザリーボード（5年目）　3月16日実施

⑤関係団体とのネットワークづくり

　・各地区の各種支援会議

・オールしずおかベストコミュニティ　コーディネーターとの連絡会（月1回）

３）障害者職業センタージョブコーチ事業（障害者職場適応援助者助成金事業）（16年目）

【独立行政法人 高齢･障害･求職者雇用支援機構】

　　職業センターとの連携の下に実施する訪問型ジョブコーチ支援事業（ジョブコーチ2名）

**⇒**3名支援

４）障害者雇用コンサルタント　【自主事業】
磐田市の病院での支援（中遠拠点）

５）「障害者職場定着支援奨励金」によるジョブコーチ派遣　【自主事業】
袋井の高齢者施設での支援

６）相談事業

　　　電話とメールによる相談多数（無料職業紹介案件　0件）

**（２）ICTによる社会参加支援**

１）西部地域障害者在宅パソコン講習（13年＋2年目）　【静岡県健康福祉部障害者政策課　委託】

　申込20名（視覚11、肢体8、聴覚1）講師9名、実施講座170H

視覚障害者からはiPad・iPhone講座の申込みが多数

２）ユニバーサルデザイン事業　【浜松市UD男女共同参画課　委託】

11/10セミナー**「生活に立つアプリを見つけよう」**浜松市子育て情報センター

平林ルミさん（東京大学先端科学技術研究センター）　参加者　28名

読み書きに障害のある子ども、保護者、支援学級教員等が多く参加し、iPadのアクセシビリティ機能、学びに活用できるアプリ等について学び有効性を知った。今後の課題について意見交換できた。

３）障害者福祉施設内でのiPad・PC講座（11年目）　【浜松市福祉事業団　委託】

iPad講座12回（のべ131名）＋PC講座24回（のべ190名）　ボランティアのべ86名

４）バリアフリーオアシス　【自主事業】

　相談、在宅訪問　2名（肢体）2H

５）ぽけっと工房（12年目）　【自主事業】

登録テレワーカー数21名（四肢11、視覚2、知的1、内部1、精神４、聴覚2）

今年度実質就労者9名（四肢２、視覚１、精神４、聴覚２）

受注実績20件（データ入力、テープ起こし、Webページメンテナンス、印刷等）

発注者は、浜松市（優先調達に基づき随意契約）、大学、民間企業、任意団体、個人など

**（３）多文化・子ども**

１）「外国ルーツの子どもの教育支援情報倉庫」Web更新【三井物産＋使途指定寄付】

　　　　「高校進学ガイドブック静岡県版2019」を6言語で作成、進路情報を4言語で提供

２）はままつ子どもの学び支援＆セーフティネット強化事業（3年目）【ベネッセこども基金　助成】

　　　アウトリーチ型学習支援　15名（小・中・高校生）、のべ478回684時間　講師6人

　　実行委員会6回、講師会1回、研修会1回、シンポジウム1回開催

　　連携団体：浜松市社会福祉協議会、サステナブルネット、子ども育ちレスキューネット、

　　　基礎屋、浜松市スクールソーシャルワーカー、新津地区民生委員、*浜松市*生活自立相談支援センター*つながり*、地域若者サポートステーションかけがわ、POPOLO

　3/3（日）10:00～16:30　**「ほっとけない！子どもの貧困2019シンポジウム」**

場所　アクトシティ コングレス・研修センター　　参加費　無料

参加者　73名、スタッフ　10名

　　　基調講演「子どもの貧困 実態と課題～「貧」対策と「困」対策～」

小河光治さん（公益財団法人あすのば　代表理事）

　　　全体会　浜松市、N-Pocketの取り組み

　　　分科会　A「学習支援」

近田由紀子さん（文部科学省 外国人児童生徒等教育支援ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄｵﾌｨｻｰ）

　　　　　　　B「子ども食堂」

米田佐知子さん（子どもの未来ｻﾎﾟｰﾄｵﾌｨｽ）、渡邊修一さん（（特）ｻｽﾃﾅﾌﾞﾙﾈｯﾄ）

　　　　　　　　C「高校のキャリア支援＆校内カフェ」

石井正宏さん（（特）パノラマ）、中村守孝さん（静岡県立新居高校定時制）、

池田佳寿子さん（地域若者サポートステーションかけがわ）

３）子どもの学習支援（2年目）　【母子生活支援施設　委託】

　　　　対象者9名（小～中学生）、講師6名、のべ206回　講師会2回開催

４）高校の校内カフェ支援　【静岡県社協　助成】

　　　　新居高校定時制の「よりみちカフェ」の支援　13回、浜松大平台高校　1回

５）静岡県フードバンク事業との連携協力　【POPOLO　委託】

寄贈・提供の中継点として（特）POPOLO、（認特）フードバンクふじのくにに協力

フードバンクふじのくにのフードドライブに協力　8月、1月

食品寄贈の受入れ（50件）と食品提供（38件）

６）ネットワーキング

　　　　（社福）浜松市社会福祉協議会、（一社）みらいTALKと研修会、講演会の共催

**（４）環境・地域の自立**

１）SAVE JAPANプロジェクト（6年目）　【日本NPOセンター　助成】

（特）浜松市東区の自然と文化を残そう会との協働事業

場所はいずれも十湖池ビオトープ（浜松市東区豊西町871）

4/29（日）**「十湖池フェスティバル」**

参加者：子ども66、大人45、学生2、高校生8、引率教員2、スタッフ9　計132名

6/24（日）「十湖池ビオトープ整備作戦」　→　雨天中止

7/29（日）**「十湖池アドベンチャー」**

　参加者：子ども19、大人10、ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ14、引率教員3、他団体4、スタッフ9　計59名

２）万斛公園市民協働支援業務（3年目）　【浜松市公園課　委託】

①資金調達方法に関する支援

助成金・補助金の情報提供、助成金申請アドバイス、資金調達に関する道筋支援

②協力体制の構築に関する支援

「万斛公園　母屋再生プロジェクト」の進め方を提案、母屋再生に関わる建築士の紹介

　　③効果的な情報発信に関する支援

プロジェクトのWebサイト構築、紙媒体のパンフレット作製、SNSによる発信支援

④公園開設に向けた支援

公園の維持管理＆プロジェクト推進体制の提案、子どもの遊びのキーパーソン紹介

３）防災・災害ネットワーク　　【自主事業】

　　災害時にも助け合えるネットワーク（にもネット）に参加

　　1/21「台風24号　あの時できた助け合い～停電にも負けないつながりづくり～」開催協力

**３．組織の管理運営**

**１）事務局会議**

事務局に勤務する全スタッフによる事務局会議を毎週火曜10:30～12:00に48回開催。各事業担当者から１週間の進捗報告と予定、事務局より事務連絡、組織運営のための相談・協議を行う。

年1回、4月に年間戦略会議を行い、各事業の棚卸、課題の共有、今後の展望等について議論した。

**２）理事会**

2018年度は４回の理事会を開催し、事業運営、組織運営に関わる協議を行った。

5/26（土）13:00～14:50 理事6名、監事1名、その他2名　計9名

5/26（土）17:05～17:10 理事5名、その他1名　計6名

1/27（日）14:00～15:30　理事7名、監事2名、その他1名　計10名

3/29（金）19:00～21:00 理事6名（内委任状2名）、監事2名、その他2名　計10名

**３）総会**

5/26（土）15:00～17:00　浜松市市民協働センター

参加者：正会員19名＋委任状提出者12名（正会員総数53）、オブザーバー4名

**４）認定NPO法人の認定について**

　　2018年度寄付　131件　（3000円以上の寄付者数100名）